

# 橋本市DX推進計画 ～暮らし・元気・スマートを加速～

## 改訂概要

### ①国策定自治体DX推進計画の改定に伴う変更

R5.11（2.1版）、R5.12（2.2版）、R6.2（2.3版）

#### ☞重点取組事項の追加

- ・フロントヤード改革の推進（R5.11改定）
- ・公金収納におけるeLTAXの活用（R6.2改定）

### ②DX推進事業の変更（進捗、検討結果の反映）



# 橋本市DX推進計画

～暮らし・元気・スマートを加速～



橋本市  
HASHIMOTO CITY

# 基本方針



## 総合計画の将来像

「人輝き あたたかさ湧きでる みんなで創造する 元気なまち 橋本」  
の実現をデジタル技術の活用によって加速・推進

### 暮らしのDX

- ・暮らし（市民）の利便性向上
- ・人にやさしいデジタル化

### 行政経営のDX

- ・行政事務の効率化と基盤整備（スマート行政）
- ・デジタル技術の活用による社会課題の解決

### 分野別のDX

- ・地域社会のデジタル化
- ・ICTツールの積極的な活用

# 計画期間



総務省自治体DX推進計画の終期に合わせ、令和5年度（2023年度）から令和7年度（2025年度）までの3年間とします。国の動向やデジタル技術、社会情勢の変化を踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

	2023年度 R5年度	2024年度 R6年度	2025年度 R7年度	2026年度 R8年度	2027年度 R9年度
橋本市長期総合計画	後期基本計画（R5～R9）				
総務省自治体DX推進計画	自治体DX推進計画（R3.1～R7）				
橋本市DX推進計画	DX推進計画（R5～R7）				

## 暮らしのDX 行政手続きのオンライン化



- 電子申請サービスで利用可能な行政手続きを増やすとともに、オンライン窓口といったツールを活用することで、行政手続きや行政サービスに関する利便性の向上を図ります。

### ◆主な取り組み

#### 申請手続きのオンライン化

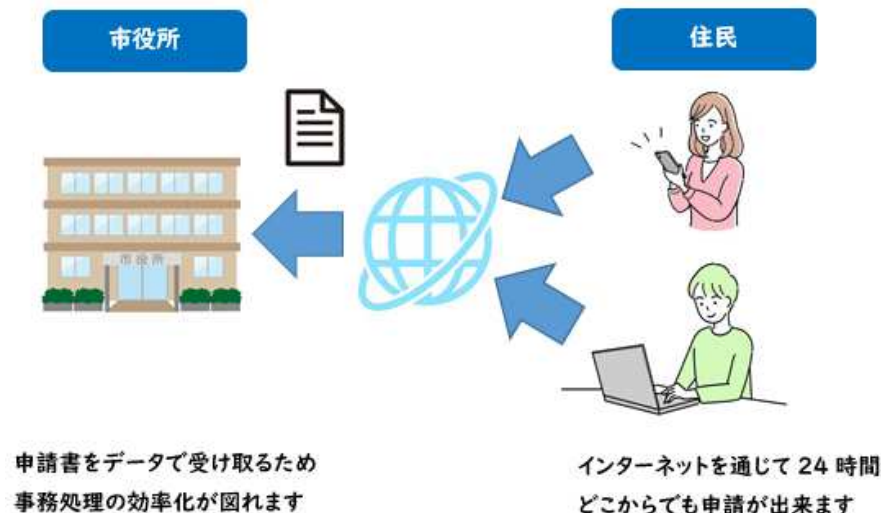
スマートフォンやパソコン等を使用して、時間や場所を問わずオンライン申請できる手続きを増やします。

#### 窓口のデジタル化

申請書の作成補助システム等を導入し、窓口で簡単に申請書を作成できるようにすることで利便性の向上と待ち時間の短縮を図ります。また、公民館と市役所を繋ぐ遠隔窓口の活用を図ります。

### ◆その他取り組み

- キャッシュレス決済の推進
- マイナンバーカードの普及促進・利活用



いつでも、どこからでも



- 幅広い人々が容易かつ持続的にデジタル化の恩恵を受けられるよう、ICT教育や、住民同士の助け合いによるICT普及を促進します。
- オープンデータを公開、活用できるよう、管理体制や活用方法を確立します。また、ビッグデータ・AIを活用した施策の分析や政策立案を検討します。

## ◆主な取り組み

## ICT活用支援

橋本市では、高齢者を含むすべての市民が行政サービスのデジタル化の恩恵を受けられるよう、様々な取り組みを進めています。

その一つとして各公民館等で「スマホ教室」を開催します。また地域内交流を促進するため、一部の講座について、市内の学生に講師役をお願いする予定です。

## ◆その他取り組み

- オープンデータ公開
- ビッグデータ・AIの活用

人にやさしいデジタル化





- 電子決裁の導入・ペーパーレス化の促進や、標準仕様準拠の情報システムへの移行を踏まえた業務フローや連携の見直しを図ります。
- AI・RPAの利用を促進するとともに、電子データ化やWEB会議の普及などを踏まえ、行政事務補助システムと事務用機器を整備します。

## ◆ 主な取り組み

## AI・RPAによる事務作業の効率化

業務へのAI・RPA技術の利用を促進し、事務処理の効率化を図ります。また電子データ化やWEB会議の普及などを踏まえ、電子決裁の導入など、行政事務補助システムと事務用機器を整備します。

## デジタル人材の確保・リモートワークの促進

デジタルアドバイザーなどを活用し、職員の人材育成を図るとともに、働き方の多様化に伴いリモートワークに対応した勤務環境の整備を行います。



スマート行政





- 基幹業務の標準仕様の策定にともない、基幹系業務システムについて、国が策定する標準仕様に準拠したシステムへ順次移行します。

### ◆ 主な取り組み

#### 情報システムの標準化・共通化

国が示す標準仕様に準拠したシステムを導入することにより、各種様式の統一化を図り、窓口手続き等の簡素化を目指します。  
また、制度改正等に伴う改修費用等の削減に繋がります。

#### 情報セキュリティの強化

情報システムの多様化等の状況を踏まえて、利便性の向上と安全性の確保の両立を図るため、随時セキュリティポリシーの見直しを行い、またサイバーセキュリティについてリスク対策を強化します。







- ICT技術の活用による新たなサービスモデルの構築や普及、地域産業の生産性向上や発展に寄与するICT導入などを支援し、持続可能な地域社会づくりを促進します。

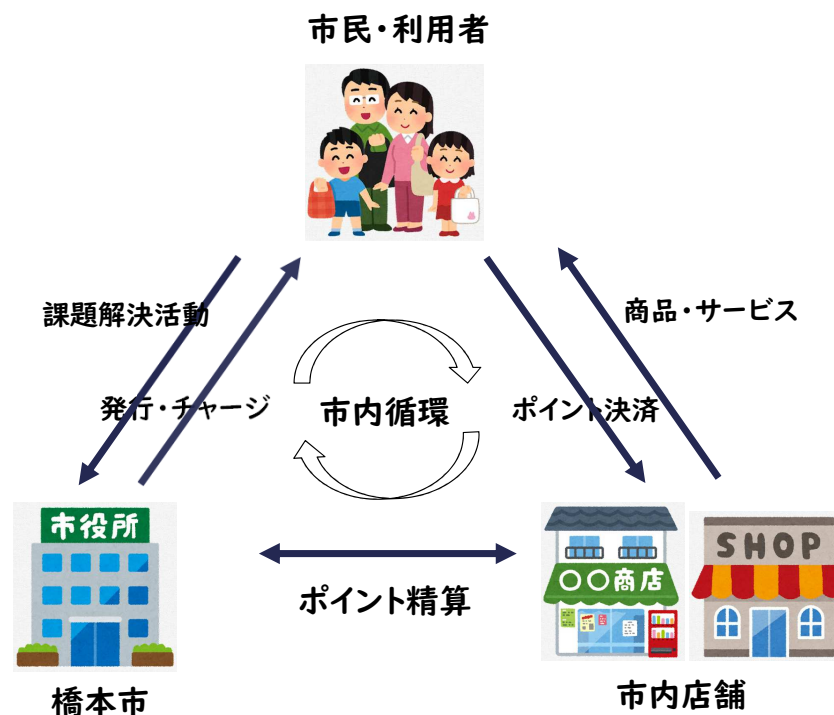
◆主な取り組み

デジタル通貨（ポイント）による地域経済の活性化

デジタル通貨アプリの導入により、お金の地産地消を図り、市内経済循環を高め、地域経済の活性化を図ります。今後、利用状況等を踏まえ、課題解決に向けた活動に対するポイント付与などを検討します。

◆その他取り組み

- デジタル技術の導入支援





- 各分野において、事業の効果や効率の向上を図るため、ICTツールを積極的に活用します。

### ◆主な取り組み

#### ●教育分野におけるICT活用

電子黒板を各小中学校に導入・活用して、GIGAスクール構想により整備した端末等のICT機器の更なる活用を図ります。

#### ●要介護認定事務のデジタル化

介護認定の申請から認定までの一連の事務において、デジタル技術を活用できる部分をデジタル化し、申請から認定までの迅速化を図ります。

#### ●情報コミュニケーション（LINEの活用）

対話型の操作メニューを活用した分かりやすい申請手続きや、ひとりひとりの知りたい情報に合わせた配信、LINE上での相談対応等を行います。



# R5年度の主な取組み実績

## デジタル田園都市国家構想交付金（Type I）



- ①申請手続きのオンライン化  
LoGoフォーム、LINEの機能による電子申請機能の拡充
- ②窓口業務のデジタル化  
タブレットによる申請書の作成補助 窓口の利便性向上
- ③介護認定業務のデジタル化  
介護認定調査の記録をデジタル化し、認定調査・認定までの迅速化
- ④デジタル地域通貨事業  
デジタル地域通貨導入による、市内経済循環の向上
- ⑤教育分野におけるICT（電子黒板）

# ①申請手続きのオンライン化



## PCやスマホによる電子申請サービスの拡充

市民の利便性向上

いつでも。どこからでも。

行政の効率化

データ収受。窓口対応の削減。

### ●Logoフォーム（インターネット、LGWAN）

### ●LINEの申請機能

#### 住民サービス向上



行政手続き、来庁・相談予約、住民アンケート、通報システム、オンライン決済など



#### 庁内業務改善



職員向け手続き、庁内照会回答、現場報告、大量データ入力集計、庁内在庫管理など



#### 橋本市役所 LINE支所

申請・予約



防災



広報・HP・SNS



家庭ごみ



保健予防



子育て



公園情報



コミュニティバス



報告・連絡



相談



受信設定



## ○取組内容

汎用電子申請システム「LoGoフォーム」やLINEアプリの機能を中心に活用し各種手続きの電子化を進めました。

電子申請を導入することで24時間365日、いつでもどこでも手続きが出来るようになっただけでなく、申請受付の事務処理の効率化にも繋がりました。

## ○今後の取組み

令和7年度末までに原則全ての申請手続きを電子化できるよう、今後も順次電子化を進めていきます。

分かりやすい、使いやすい電子申請を目指して検討を行っていきます。



## ②窓口業務のデジタル化



### 窓口タブレットによる申請補助、他課との情報連携

窓口申請の利便性向上 書かない・何度も書かない・待たない

#### CASE1 来庁し、自治体窓口で電子申請を行う



#### CASE2 スマホ・PCで事前に申請し、本人確認のみ来庁





## ○取組内容

市民課と保険年金課の窓口手続きの一部で「書かない窓口」を導入しました。

令和5年度では、転入に伴う手続きを中心として、住民異動・マイナンバーカード・国民健康保険に関する10手続きでサービスを開始しています。

## ○今後の取組み

令和6年度は市民課と保険年金課（市役所本庁舎1階）の手続きを中心に利用し、課題の洗い出しや効果検証を行います。

また、最終的にはライフイベントに関連した手続き全般で利用できるよう、順次手続きの拡張を検討し進めていきます。

### ③介護認定業務のデジタル化



## 認定調査をデジタル化（タブレット端末導入）

デジタル化後のフロー



従来のフロー



スキャンされた内容が間違っていないか目視確認するだけでずいぶん楽になった



#### 【解決策】

- ①OCRで手入力時間削減
- ②目視の2重チェックで入力ミス削減

※AI-OCR導入例

## ○取組内容

訪問調査の業務をデジタル化し、認定調査業務の効率化を図るため、介護認定用のタブレット調達、及びシステム環境を構築しました。タブレットを活用し調査記録をデータ化することで、記録時間の削減、業務フローを円滑化し、介護認定に係る業務期間の短縮に努めました。

## ○今後の取組み

認定調査業務の更なる効率化を図るため、確認や判断に時間を要する認定調査票の確認作業を代わりに行うAIサービスの活用を検討していきます。  
また、デジタル化に伴い業務フローの見直しを必要に応じて行っていきます。

# ④ デジタル地域通貨事業



**橋本市プレミアム付デジタル商品券 2023**

**プレミアム率 30%**  
一人あたり購入上限 10,000円(10,000ポイント)  
3,000プレミアムポイント付券  
1,000円単位で購入できます。  
10,000円デジタル地域通貨購入で13,000円分が使える。

橋本市デジタル地域通貨 Hashi-Mo を使って 30%のポイントゲット!!

販売開始 **令和5年10月2日** 午前9時から  
※予算に達しましたら販売を終了。

有効期限 **令和6年2月15日**まで

◆販売期限: 令和6年1月31日(水)まで ※予算に達しましたら販売を終了  
◆購入上限: お一人様10,000円まで 10,000円の購入で13,000ポイント  
◆利用区分: ● 購入チャージ分(最大10,000ポイント)加盟店全店舗で利用できます。  
● プレミアム分(最大3,000ポイント)地元店舗で利用できます。

※一度購入したプレミアム付デジタル商品券は、換金や払い戻し等はできません。  
※有効期限を過ぎるとポイントが失効します。

Hashi-Moの使い方は裏面をご覧ください。

## ■ R5 プレミアム付デジタル商品券

市内経済循環

事業者支援

STEP 3 使う(決済する)

市内のHashi-Mo加盟店でご利用できます。

ステッカーなどが目じるし!

地元店舗分・共通分  
地元店舗分・共通分  
どちらも利用できます。

共通分のみ  
共通分のみ  
ご利用できます。

加盟店情報はコチラ

**ユーザースキャン方式**

1 利用者が自分のスマホの専用アプリでお店の二次元コードを読み取る

2 利用者が決済金額をスマホで入力する。

2 お店が金額を確認してOK。

**ストアスキャン方式**

1 お店が利用者の二次元コードを読み取る。

2 お店が決済金額をスマホで入力する。

2 利用者が金額を確認してOK。

デジタル地域通貨購入チャージ分利用に関するお問い合わせ(102-)

chicaお問い合わせコールセンター **0120-111-164**

【受付時間】9:00~18:00(土日祝日含む) 尚12/30~1/3を除く

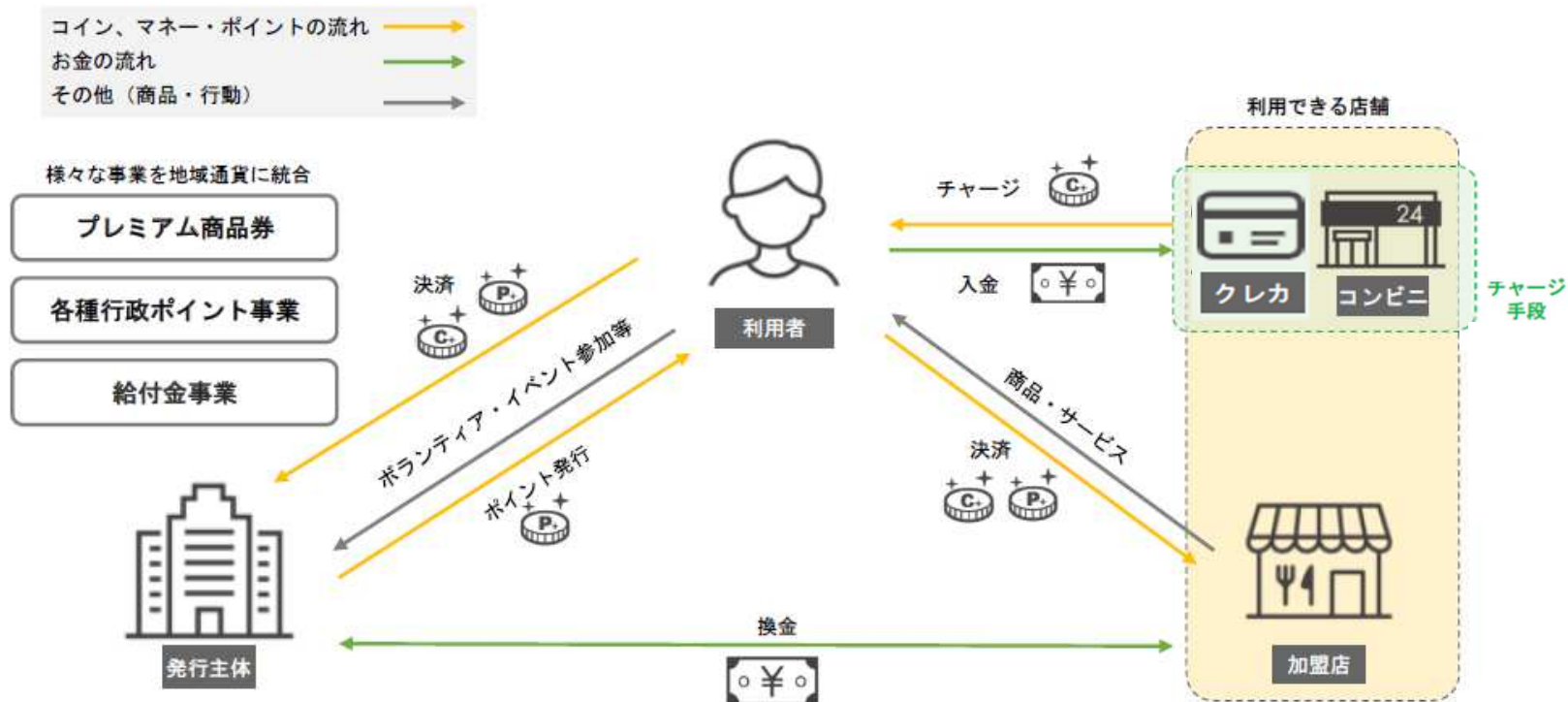
橋本市プレミアム付デジタル商品券事業案内

プレミアム付デジタル商品券事業ページ

橋本市 プレミアム付デジタル商品券



# Hashi-moのお金等の流れ



## R6～ ボランティア、講座・教室

市内の経済循環の向上と地域課題の解決に取り組み、地域を元気に！



## ○今年度取組内容

### ・プレミアム付デジタル商品券

物価高騰等の影響により市内商工業者における消費が伸び悩んでいることから、橋本市内店舗でのみ使用できるデジタル地域通貨「Hashi-Mo」を活用し、「橋本市プレミアム付デジタル商品券」の販売を行い、市内店舗における消費拡大を図りました。

## ○今後の取組内容

### ・市内の経済循環の向上と地域課題の解決

R6年度より、特定健診等の個別事業やボランティア活動、講座やイベントなどにおいて、参加率向上や継続的な参加を促進するため、地域ポイントの付与を行います。

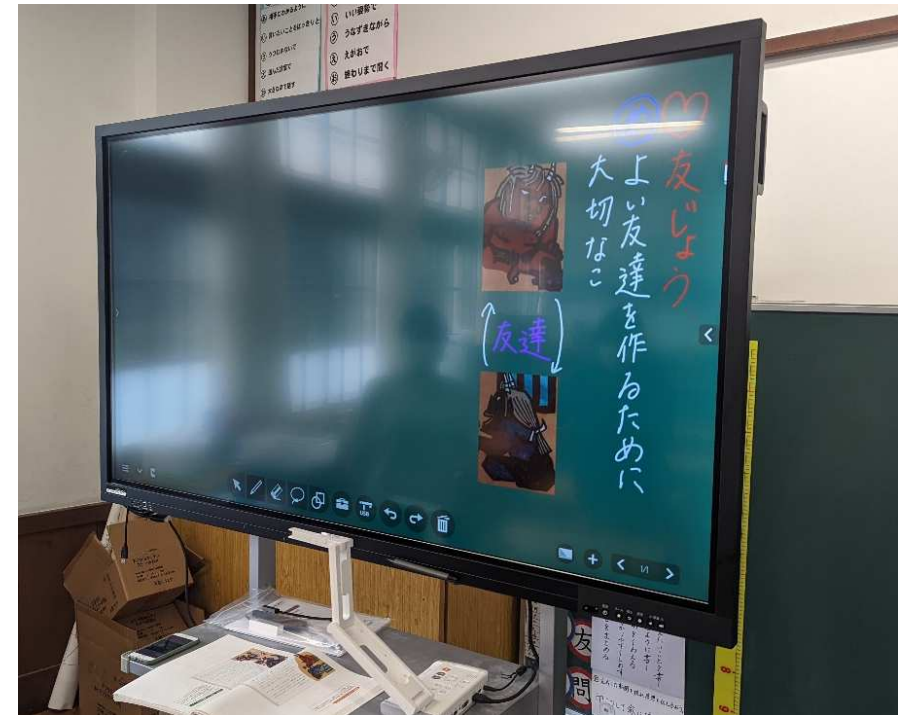
## ⑤教育分野におけるICT（電子黒板）



児童・生徒の関心度

学習効率向上

- ・ 直接書き込める
- ・ 表示した内容の拡大
- ・ アニメーション表示
- ・ 書いたデータの保存、以前の振り返りが簡単





# R6年度の主な取組み



- 幅広い人々が容易かつ持続的にデジタル化の恩恵を受けられるよう、ICT教育や、住民同士の助け合いによるICT普及を促進します。

## ◆主な取り組み

### ●ICT活用支援

令和5年度に引き続き、すべての市民が行政サービスのデジタル化の恩恵を受けられるよう、各地区公民館で「スマホ教室」を開催します。

また、一部の講座について、市内の学生に講師役をお願いする予定です。



人にやさしいデジタル化



- 基幹業務の標準仕様の策定にともない、基幹系業務システムについて、国が策定する標準仕様に準拠したシステムへ順次移行します。

#### ◆ 主な取り組み

##### ● ビジネスチャットツールの導入

ビジネスチャットツールの活用により、職員間コミュニケーションの活性化、部署内や庁内において横断的かつ視覚的な情報共有や意思決定の迅速化を図ります。



##### ● 財務会計システム電子決裁機能導入

電子決裁機能を導入することで、伝票処理のペーパーレス化を実現しコスト削減を目指します。また、出先機関の伝票処理業務にかかる移動時間削減等により業務の効率化を図ります。





- 各分野において、事業の効果や効率の向上を図るため、ICTツールを積極的に活用します。

### ◆主な取り組み

#### ●デジタル教科書の導入

デジタル教科書導入により紙面では実現できない機能を活用し、学習効率の向上や教員の負担軽減を図ります。

#### ●デジタル地域通貨（Hashi-Mo）の活用

プレミアム付商品券事業に加え、ボランティアや各種講座・教室・施策に参加された方へポイントを付与することで、市内経済の循環向上、施策や市民協働の推進を目指します。





- 各分野において、事業の効果や効率の向上を図るため、ICTツールを積極的に活用します。

### ◆主な取り組み

#### ●小中学校体育館への無線ネットワーク整備

小中学校既設無線LANを体育館まで拡充し、平時は授業等で活用します。また、災害時には避難者向けに開放することで、インターネット環境を利用できるようし、避難所での生活環境の改善を図ります。

